



NHKテレビ「しずおか630」  
のアシスタント

渡辺 裕子さん

伝法上中町 22歳



昨年の秋のこと。大卒女子の就職状況は厳しく、焦りかけていたとき、ふと目にしたのが「しずおか630」のアシスタント募集の放送。

ただ「やってみてみたいな」という軽い気持ちで申し込んだところ、百人を超える応募者の中から、午後六時半の顔に選ばれました。身長は百六十七センチメートル。キヤメル色のプレザーの着こなしはとてもシックです。「お化粧の仕方もよく知らなくて…」という健康的なさわやかさが印象的です。「六時三十分と言つと、仕事から帰つてくつろぐ時間。視聴者の方にくつろげる雰囲気をお伝えしたい」というのが今の抱負。花の大学生活から全く違う社会へ飛び出して、見ることに驚くことばかり。ただ今やべり方の特訓中です。「富士市の視聴率を上げてくれと言われています。皆さん見てください」としつかり「マーシャル。テレビへ登場は四月七日からの予定です。」

# まち

我がまちを語る



佐野隆夫さん

岩本上町 64歳

「お茶とみかんのあるところへ住みたい」とかねがね思っていた私は、今から三十五年ほど前、富士宮から現在の居住地(岩本上町)へ移ってきました。

このあたりの町並みは、当時と比べてもほとんど変わっていません。それだけ土着の人たちが多いまちだと言えます。実相寺の門前町として発展してきたなごりか、近所にはやどやの〇〇さん、とうふやの〇〇さんなどいまだに屋号で呼ぶ家も多く、門前町としてにぎわった当時がしのばれます。また、昔ほどではありませんが実相寺を初め、天神さん水神さん、稲荷さんなど昔ながらのお祭りにもぎわいを見せます。このように神社、仏閣を大切にしてきた土地柄か、岩松人は信仰深く素朴な人だと言えます。



水神さんの掃除を  
水神子供会



文化活動をもつと盛んに  
渡辺幸子さん 滝戸

「昔から住んでいる人は気付かないでしょうが、岩松地区はとも住みやすいところですよ」と、十二年前に南足柄市(神奈川県)から転居してきた渡辺さん。毎週、岩松公民館を会場に生協活動の一環として軽スポーツを楽しんでいます。「文化活動がもう少し盛んになるといいですね」と、今後に期待をしています。

水神の子供会は、毎月、第二、第四日曜日、小学校三年生以上の子供たちが水神社の掃除をしています。昭和五十六年から、みんなの地域をきれいにしよう、奉仕の心を養おうなどの理由で始めたものです。「雨の日、風の日、寒い日暑い日などつらいときもあります。これからも続けていきたい」とみんながんばっています。



私も岩松の人曰:  
クラデユス・渡辺さん 浦町

昨年三月、常夏の国ドミニカから、日本人のご主人との結婚により日本へ。「友達もいっぱいできました」と笑顔で答えるクラデユスさん。「語学が大好き」の言葉どおり日本語の上達ぶりにはビックリ。家事、育児の合間にスペイン語を教え、エアロビクスで汗を流すという生活。やさしいご主人と祖父母、長男の五人家族。

## あの人・この人・こんなこと

